

日本原子力学会 核燃料部会
令和7年度第三回運営小委員会議事録

日時 : 令和7年9月17日(水) 9:30~11:00 於 WEB 会議(Webex)

出席者 : 尾形部会長, 黒崎副部会長, 有馬委員, 宇田川委員, 宇埜委員, 逢坂委員,
片山委員, 樽松委員, 澤委員, 園田委員, 田伏委員, 鶴田委員, 西岡委員,
樋口委員, 森本委員, 徳島氏 (GNF-J), 浦野 (記)

議事 :

0. 開催挨拶

運営小委員会開催にあたり, 尾形部会長からご挨拶をいただいた。

1. 前回議事録等の確認 (資料1)

前回 (令和7年度第二回) 議事録は, 確認済みであり, 配布のみ。

2. 令和7年度核燃料部会業務分担について (資料2)

業務分担は前回 (令和7年度第二回) から変更がないことを浦野から説明した。また, 計画通り10月以降庶務幹事は浦野から西岡委員に交代する予定であることを説明した。

3. 令和6年度収支実績と令和7年度予算について (資料3)

浦野から, 令和6年度の収支実績及び令和7年度予算資料について, 繰越金の欄に令和7年7月末時点の実績を反映したことを説明した。また, セミナー予算の実績は3部会合同開催の収支実績を記載している旨がわかるよう注記を追記したことを説明した。

4. 企画小委員会の概要について (資料4)

黒崎副部会長から, 9月4日に開催された企画小委員会の内容が報告された。また, 将来に向けた企画小委員会のあり方の方向性として, 以下の案が紹介された。

プランA : 現状から大きくは変えないが, 若手中心の企画検討で活性化

プランB : メンバーの若返りを図り, 企画セッションや夏期セミナーといったものの企画立案・推進を企画小委員会の役割として明確化して, ボトムアップで若手からアイデアを出していく形に変える

プランB' : プランBほど大幅変更ではなく, 企画の一部を若手主体で決めていく形

プランC : 企画小委員会と運営小委員会を一体化

これに対し, 体制は他の部会も参考にすると良いという意見や, プランBを支持する意見, 企画を若手にまかせる場合は運営小委員会が中途半端に口出しをせず完全に任せることが重要, といった意見があった。

本件は企画小委員会で再度議論し、その結果をまた運営小委員会にて議論することとした。

5. 2025 年秋の大会における核燃料部会学会講演賞の選考について（資料無）

樋口委員から、秋の大会における学会講演賞の対応状況について説明があった。

選考担当委員は来週中（9/19）を目途に審査結果シートを樋口委員に提出することとした。

応募者へのコメント伝達の観点から、次回に向けてコメントシートの見直しについて今後議論していくこととした。

6-1. 2025 年秋の大会における企画セッションについて（資料 6）

浦野から、9/11 に行われた秋の大会における企画セッションの報告内容について紹介した。

報告内容に対して各委員からは特段の意見は無かった。

6-2. 2026 年春の年会の企画セッションについて（資料無）

浦野から、春の年会の企画セッションについて、材料部会及び核融合部会との合同開催の話が出ている旨、紹介した。

核燃料部会は材料部会及び水化学部会と定期的に合同で夏期セミナーを開催していることから水化学部会との関係について確認があったが、合同開催に関してその他否定的な意見は無く、企画小委員会にて今後議論していくこととなった。

7. 2025 年度夏期セミナーの開催報告について（資料 7）

徳島氏から、8/5, 6 に開催された 2025 年度夏期セミナーの結果について報告があった。

収支報告について一部誤記があったため、修正したものを再送することとした（会議後浦野受領済）。

8. 核燃料部会報について（資料 8）

田伏委員から、核燃料部会報（No. 61-1）の目次、内容、執筆者の案について説明があった。

尾形部会長より関係機関便りについて、順番に各機関に依頼してはどうかとの意見があった。今回の部会報での対応は難しいが、その次の部会報での対応に向けて過去の実績を踏まえた対応案を田伏委員に検討いただくこととなった。

特別寄稿として夏期セミナーのポスターセッション受賞者に執筆いただく案に対して、昨年度の奨励賞受賞者も候補となりうるため、連絡先が確認できれば候補として検討することとなった。国際会議紹介について、TopFuel2025

には JAEA から参加予定があり執筆可能とのことであったため、宇田川委員から田伏委員に参加者情報を連絡いただくこととなった。

9. 2026 年度夏期セミナーについて（資料 9）（順番を入れ替え会議の最後に実施）

浦野から、2026 年度夏期セミナーの骨子案について紹介した。

開催地、施設見学、日程について意見、要望があれば 9 月中を目途に渡部副部長まで電子メールで連絡するよう依頼した。

10. TopFuel2026 国際会議の準備状況について（資料無）

尾形部会長から、TopFuel2026 の準備状況として、組織委員会の開催状況、プログラム委員会の立ち上げ、スポンサー募集の検討状況などについて説明があった。また、プロモーション映像についても紹介があった。

各委員からは特段の意見は無かった。

11. 運営小委における情報交換・情報共有（資料無）

尾形部会長から、高速炉実証炉の概念設計の状況や燃料の検討状況について紹介があった。

次回運営小委員会では黒崎副部長よりトピックスを紹介いただくこととなった。

12. その他

次回、令和 7 年度第四回運営小委員会は、令和 7 年 11 月 13 日（木）9 時 10 分から WEB 開催することとした。

以 上